

攻めるオーナー経営者のための

NIKKEI **TOP** LEADER

日経トップリーダー

2013年3月1日発行(毎月1日発行) 第342号 1984年11月22日第3種郵便物認可

3
2013

特集

宅急便の生みの親

小倉昌男 志の経営学



特集

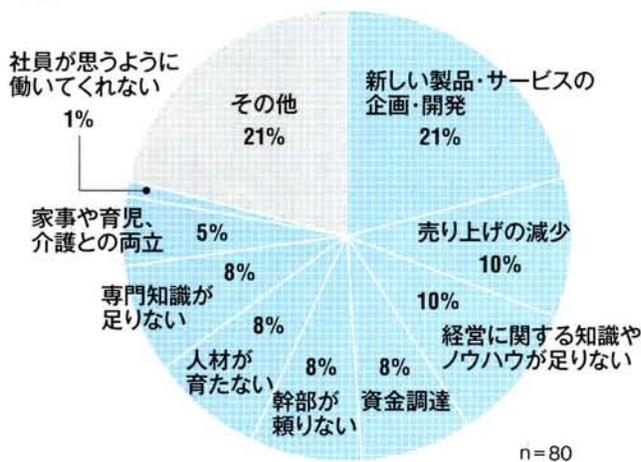
落ちこぼれを 出さない会社

特別企画 東日本大震災から2年
土俵際から巻き返す

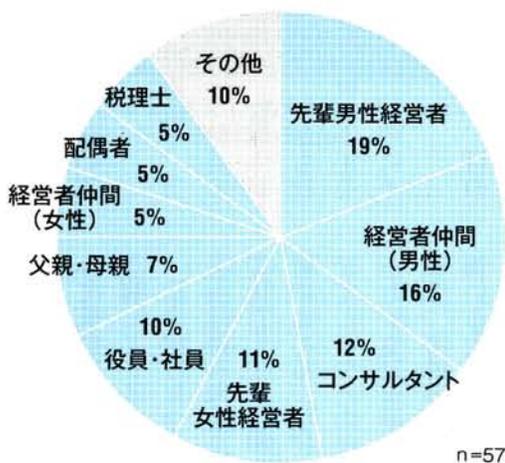
3人に1人が弱みは「ない」

女性社長の弱みは何か。またどんな悩みを抱えているのか。意識調査から、女性社長の輪郭を浮き彫りにする。きめ細かな経営手法は、壁を打破するヒントになる。

Q1 経営上、一番の悩みは何ですか？



Q2 経営の悩みを誰に相談しますか？ (「相談相手がいる」と回答した人のみ)



調査概要

全国の女性社長85人にアンケート用紙を2月上旬にメール、ファクスで送り、同月内に回収した。各設問で無効回答は集計から外した

帝国データバンクの調査によると、2012年12月時点の女性社長は8万1358人で、全体に占める割合は7・2%。90年の調査では4・5%なので、緩やかなペースだが着実に増えている。男性の後継者難や、女性の社会進出が背景にあると考えられる。

だが、女性社長に関する調査データは意外なほど乏しい。そこで本誌はアンケート調査を実施。その結果からは女性特有の悩みを多少感じつつも、むしろ女性社長であることを強みとして、肯定的に捉えていることがうかがえる。

女性社長の弱みを尋ねたところ

Q5 一番大切にしていることは？

- 関わっている人すべてが幸せであること
- 理念をすべての軸とし、お客様のことや社員のことを考えて決定、行動する
- 経営理念
- 自分の心身の管理
- 常に利益率を念頭に置く
- 可もなく不可もなくの
つまらない組織にならないように、
社員の長所を認め、短所を補い、
とがっているが、のびのびとした組織でありたい
- 大事な人生の時間を使ってやるからには、
格好いいサービスや会社をつくりたい
- すべての決断に自信と責任を持つこと
- お客様と社員を守るために、
どんな問題からも逃げないこと
- 社員が自分の仕事に誇りを持ち、
この会社ですっと働きたいと
思ってくれるような社風づくり
- 女性としての身だしなみ、
女性の心を忘れない

Q6 目標とする経営者は？

- 松下幸之助(パナソニック創業者)
- 稲盛和夫(京セラ創業者)
- 三木谷浩史(楽天会長兼社長)
- スティーブ・ジョブズ(アップル創業者)
- 自社の創業者

(複数回答があった経営者)

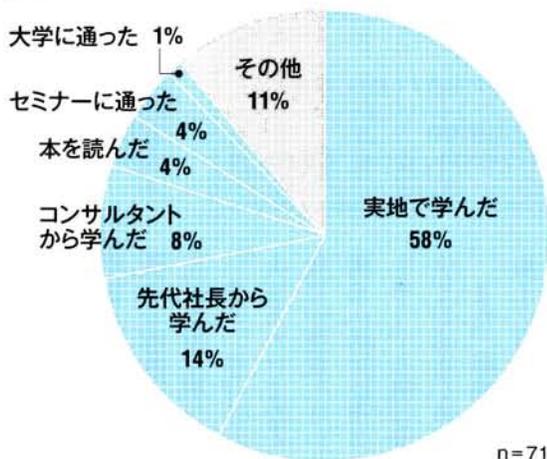
「特になし」という回答が32%で、「家事や育児、介護の負担が大きい」(22%)、「甘く見られる」(13%)などを上回る。一方で女性社長の強みとして「変化に対する順応性」「細やかな心配り」などを挙げる人が多かった(35ページ参照)。

日本最大級の女性経営者ネットワーク「エメラルド倶楽部」(東京・中央)の菅原智美代表理事は、女性社長の経営スタイルには大きく2つの特徴があると考えている。「神経が細やかで、世の中の動きや社員のちょっとした変化にも気付けること」と「周囲にうまく甘えられるしなやかさ」だ。

これまで紹介した3人の女性社長も社員1人ひとりに目配りし、組織全体の力を底上げしている。また社員との心理的距離が近く、一体感のある組織をつくり上げている点も共通している。男性社長によく見られる、豪腕型のリーダーとは対照的だ。

女性社長は決してリーダーシップが弱いのではない。危機下では男性と変わらない強いリーダーシップを発揮する。時代に合ったその組織マネジメントに、男性社長が学ぶべきことは多い。

Q3 経営をどのように学びましたか？



Q4 女性社長の弱みは何だと思いますか？

